



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO

(氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO

(氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

平成26年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	201,974	4.5	9,403	△5.7	13,227	△2.6	8,118	△5.0
26年3月期第2四半期	193,258	8.3	9,968	12.0	13,586	22.1	8,544	37.7

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 8,756百万円 (△51.8%) 26年3月期第2四半期 18,173百万円 (156.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	73.65	73.32
26年3月期第2四半期	77.52	77.23

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	475,498		347,722			71.1
26年3月期	479,469		342,300			69.4

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 337,894百万円 26年3月期 332,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00
27年3月期	—	40.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	35.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	440,000	5.4	26,000	△6.2	31,000	△11.0	20,000	3.8	181.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 福建日清食品有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】P. 4(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P. 4(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	117,463,685 株	26年3月期	117,463,685 株
27年3月期2Q	7,231,095 株	26年3月期	7,242,013 株
27年3月期2Q	110,226,954 株	26年3月期2Q	110,212,012 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想などの将来予測情報に関する説明)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、政府・日銀の各種政策が経済に徐々に波及し、株高や雇用環境の改善など、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、個人消費は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が徐々に緩和してきているものの、天候の影響もあってこのところ持ち直しの動きに足踏みがみられます。さらに円安などによる原材料価格の上昇やエネルギーコストの増加などコスト上昇圧力が続き、先行き不透明な経営環境が続いております。

また、中国の食肉加工問題など消費者の食に対する安全・安心への関心が世界レベルで高まってきております。

このような状況の中、当社グループでは新たに強化した製品開発の施設である「グローバルイノベーション研究センター」を拠点に消費者ニーズに対応した付加価値の高い製品の開発に取り組み、より一層のブランド価値向上に努めました。「食の安全」については、経営の最重要課題と位置づけており、新しく「グローバル食品安全研究所」を開設し、中国にある「日清（上海）食品安全研究開発有限公司」とも連携しながら国内外の当社グループ工場で生産される製品の品質保証体制の強化を継続しております。

また、成長性の高い新興国を中心にグローバル戦略を推進するとともに、グループとしてシナジー効果の最大化を目指し、さまざまな経営環境にも即応できる強固な企業基盤の構築に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比4.5%増の2,019億74百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比5.7%減の94億3百万円、経常利益は前年同期比2.6%減の132億27百万円、四半期純利益は、前年同期比5.0%減の81億18百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成26年3月期		平成27年3月期		対前年同期比	
	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	金額	%	
売上高	193,258	201,974		+8,716	+ 4.5	
営業利益	9,968	9,403		△ 565	△ 5.7	
経常利益	13,586	13,227		△ 358	△ 2.6	
四半期純利益	8,544	8,118		△ 425	△ 5.0	

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

① 日清食品

日清食品(株)の販売状況は、袋めん類において、「チキンラーメン」やノンフライ袋めんの「日清ラ王」群の売上が引き続き堅調に推移しました。特に、8月に発売した「日清ラ王 担々麺」は、“生めん風袋麺”では初となる本格中華タイプの「担々麺」で、麺にもスープにも徹底的にこだわった「日清ラ王」ならではの逸品で売上を伸ばしました。

カップめん類においては、4月に発売した「カップヌードル トムヤムクンヌードル」の売れ行きが引き続き好調であったことや、7月にさっぱりとしながらもコク深い「和のカップヌードル」として発売した「カップヌードルライトそうめん」が好評を博したことなどで「カップヌードル」群が全体の売上増に大きく貢献しました。

その他、ルゥでもレトルトでもない「第3のカレー」という新ジャンルを確立すべく発売した「日清カレーメシ」も好調に推移し、「即席ライス」群の売上も伸長しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比3.5%増の965億17百万円となりました。

一方、セグメント利益は、原材料価格の上昇や物流コストが増加したため、前年同期比6.5%減の88億33百万円となりました。

② 明星食品

明星食品(株)の販売状況は、袋めん類では、第1四半期にリニューアル発売した「明星 チャルメラ」シリーズと「明星 中華三昧」シリーズが好調で、売上を伸ばしました。カップめん類は、主力ブランドの「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズや「明星 チャルメラカップ」が好調だったものの、その他の商品が苦戦し前年実績に届かず、即席めん全体では売上減となりました。利益については、原材料費や減価償却費が増加した影響で前年を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比3.0%減の181億51百万円となり、セグメント利益は、前年同期比13.8%減の4億48百万円となりました。

③ 低温事業

日清食品チルド(株)の当第2四半期は、主力の「行列のできる店のラーメン」に加えチルドならではの食感が好評の「太麺焼そば」、「ざるつけ麺」が大きく伸長し、トータルで前年同期比売上増となりました。新商品では簡単調理の「日清ラ王」、「親子で食べる」をコンセプトとした「妖怪ウォッチやきそば」が売上増に寄与しました。

日清食品冷凍(株)の販売状況は、中価格帯のスパゲティ類、具付きラーメン類を中心に売上が伸長しました。特に、もちっとした食感が大好評の「冷凍 日清もちっと生パスタ」シリーズや食べごたえ十分の「冷凍 日清スパ王プレミアムBIG」シリーズの販売が好調でした。また、9月にリニューアル発売した「冷凍 日清具多」シリーズの「冷凍 日清具多 辣椒担々麺」も引き続き売上を伸ばしました。利益面では、原材料費の増加による影響などで、前年を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比3.7%増の280億4百万円となり、セグメント利益は、前年同期比94.1%減の25百万円となりました。

④ 米州地域

米州地域は、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指し、高付加価値商品の強化に取り組んでおります。米国においては、大手流通との取り組みを強化し、売上は昨年を上回って順調に推移しました。メキシコは、税制改正（IEPS）による小売価格上昇等の影響はあったものの徐々に回復傾向で、セグメント全体でも増収増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は前年同期比7.0%増の161億76百万円、セグメント利益は前年同期比215.2%増の2億81百万円となりました。

⑤ 中国地域

中国地域は、中国大陸市場での販売エリア拡大と大都市を中心にターゲットに合わせた的確な商品アプローチにより増収増益となりました。特に中国版カップヌードル「合味道」は、大都市の若者をターゲットとして試食販売を増やすなど積極的な販売促進を行い、華東・華南地区を中心に売上が伸長しております。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比25.2%増の177億16百万円となり、セグメント利益は、前年同期比18.9%増の16億32百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比1.6%増の254億7百万円となり、セグメント損益は、前年同期比1億15百万円増加の76百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ39億70百万円減少し、4,754億98百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次の通りであります。

資産の減少につきましては、主に投資有価証券が107億73百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ93億92百万円減少し、1,277億76百万円となりました。これは主に未払金が21億74百万円減少したこと及び未払法人税等が23億1百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ54億21百万円増加し、3,477億22百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が45億2百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.4%から71.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月8日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、日清食品（香港）管理有限公司、東莞日清包装有限公司、日清湖池屋（中国・香港）有限公司、福建日清食品有限公司は重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（連結子会社等の事業年度に関する事項の変更）

連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、ニッシンフーズ(U.S.A.)Co., Inc.、明星U.S.A., Inc. の連結子会社2社について、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。また、連結子会社のニッシンフーズメキシコS.A. de C.V. と持分法適用関連会社であるニッシン・アジノモトアリメントスLtda. について、連結決算日の3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これらの決算期変更に伴う、平成26年1月1日から平成26年3月31日までの当該連結子会社及び持分法適用関連会社の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,923	92,003
受取手形及び売掛金	51,298	48,932
有価証券	11,725	7,331
商品及び製品	10,032	12,352
原材料及び貯蔵品	10,926	11,483
その他	11,282	10,816
貸倒引当金	△369	△357
流動資産合計	174,819	182,562
固定資産		
有形固定資産		
土地	51,063	51,101
その他（純額）	96,556	93,974
有形固定資産合計	147,620	145,076
無形固定資産		
のれん	1,832	1,473
その他	4,477	6,092
無形固定資産合計	6,309	7,566
投資その他の資産		
投資有価証券	131,843	121,070
その他	19,203	19,548
貸倒引当金	△327	△325
投資その他の資産合計	150,720	140,293
固定資産合計	304,650	292,936
資産合計	479,469	475,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,461	42,155
短期借入金	3,332	3,573
未払金	24,536	22,362
未払法人税等	7,306	5,004
その他	21,530	16,655
流動負債合計	100,167	89,752
固定負債		
長期借入金	9,441	8,979
退職給付に係る負債	6,290	5,670
その他	21,269	23,373
固定負債合計	37,001	38,024
負債合計	137,168	127,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	263,585	268,022
自己株式	△21,710	△21,680
株主資本合計	315,413	319,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,562	22,065
繰延ヘッジ損益	38	37
土地再評価差額金	△5,898	△5,898
為替換算調整勘定	5,214	1,615
退職給付に係る調整累計額	408	193
その他の包括利益累計額合計	17,325	18,013
新株予約権	1,180	1,518
少数株主持分	8,381	8,309
純資産合計	342,300	347,722
負債純資産合計	479,469	475,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	193,258	201,974
売上原価	108,450	115,029
売上総利益	84,807	86,945
販売費及び一般管理費	74,838	77,541
営業利益	9,968	9,403
営業外収益		
受取利息	550	434
受取配当金	1,094	998
有価証券売却益	412	—
持分法による投資利益	1,213	1,321
為替差益	274	877
その他	278	411
営業外収益合計	3,821	4,044
営業外費用		
支払利息	128	111
租税公課	—	53
その他	75	55
営業外費用合計	204	220
経常利益	13,586	13,227
特別利益		
固定資産売却益	131	46
投資有価証券売却益	398	745
その他	0	3
特別利益合計	531	795
特別損失		
固定資産廃棄損	437	151
減損損失	—	641
その他	175	78
特別損失合計	612	871
税金等調整前四半期純利益	13,504	13,152
法人税等	4,852	5,004
少数株主損益調整前四半期純利益	8,652	8,148
少数株主利益	108	29
四半期純利益	8,544	8,118

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,652	8,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,177	4,474
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	6,064	△1,537
退職給付に係る調整額	127	△204
持分法適用会社に対する持分相当額	2,150	△2,124
その他の包括利益合計	9,521	608
四半期包括利益	18,173	8,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,612	8,817
少数株主に係る四半期包括利益	560	△60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,255	18,719	27,001	15,117	14,150	168,244	25,013	193,258	—	193,258
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,209	629	594	—	56	2,489	8,179	10,668	△10,668	—
計	94,465	19,348	27,595	15,117	14,206	170,734	33,192	203,926	△10,668	193,258
セグメント利益 又は損失 (△)	9,443	520	427	89	1,372	11,853	△39	11,814	△1,845	9,968

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、
外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,845百万円には、退職給付関係費用197百万円、のれんの償却額△456百万
円、セグメント間取引消去等76百万円、グループ関連費用△1,664百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	96,517	18,151	28,004	16,176	17,716	176,566	25,407	201,974	—	201,974
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,630	2,268	570	0	61	4,531	9,971	14,502	△14,502	—
計	98,148	20,419	28,574	16,177	17,777	181,097	35,378	216,476	△14,502	201,974
セグメント利益	8,833	448	25	281	1,632	11,221	76	11,297	△1,893	9,403

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等
並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,893百万円には、退職給付関係費用358百万円、のれんの償却額△344百万
円、セグメント間取引消去等42百万円、グループ関連費用△1,950百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。